

日本 MIST 研究会 各位

2019年5月25日(土)に 米子国際ファミリープラザにて、第9回中四国 MIST 研究会を開催させていただきました。97名(医師48名、メディカルスタッフ49名)の方に参加していただき、盛会のもとに無事終了しましたことをご報告いたします。

今回の中四国 MIST 研究会では、演題発表は通常の一般演題に加えて、特別企画として、中四国の全県からおひとりずつご発表いただく「ご当地 MIST」を行いました。一般演題5題、ご当地 MIST 9題と多くの演題発表となり、長時間の口演となりましたが、多くの先生方の MIST へのかかわりを共有することができ、活発な意見交換・討議ができました。

全県の参加者が一同に会したことで、新たなつながりが得られたのではないかと思います。

ハンズオンセッションは4社に協賛していただきました。

各社2名の講師にご協力いただき、医師とメディカルスタッフへ PPS 手技、LIF の手技など中心にレクチャーと実技指導をしていただきました。各講師の先生方にはいろいろ趣向を凝らしていただき、非常に満足度の高いセッションとなりました。メディカルスタッフを対象としたグループワークショップでは「理想の看護師とは」をテーマにグループに分かれて意見交換を行っていただきました。病院間・業種間の垣根を超えた活発な討論が行われ、我々医師への鋭い意見も多く出ておりました。

本研究会では、2名の先生に特別講演を賜りました。鳥取大学医学部保健学科 萩野浩教授には、「骨粗鬆症性椎体骨折の予防と治療 ～診療ガイド作成を踏まえて～」と題し、椎体骨折の疫学や治療について示していただき、特に薬物治療では各薬剤の詳細な機序をわかりやすくご教授いただきました。九州労災病院 勤労者骨・関節疾患治療研究センター センター長 今村寿宏先生には「高齢者骨粗鬆症性椎体骨折における最小侵襲脊椎手術の再考～自験例から学んだ反省と対策」と題し、ご自身の経験に基づいた骨粗椎体骨折の治療について、手術手技だけでなく骨粗鬆症患者の背景に注意した治療の注意点についてご講演いただきました。

今回の研究会を成功裏に終えることができ、御参加いただいた先生方、医療スタッフの方々に感謝申し上げます。

次回、第10回中四国 MIST 研究会は、2020年6月27日(土)に岡山大学 整形外科

三澤治夫先生を会長として開催される予定です。会場など詳細については後日開示予定です。日本 MIST 研究会会員の皆様におかれましては是非ご参加いただきますよう、何卒よろ

しくお願いいたします。

第 9 回中四国 MIST 研究会

会長 谷島伸二(鳥取大学)



